

2011.7.12

東京大学法学部「特別講義EUの政治」
東京大学公共政策大学院「地域政治C（EUの政治）」
東京大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻「EUの政治」

履修希望者各位

標記授業につきましては、以下の通り実施いたします。通常の法学部の授業科目とは運営方法が多少異なりますので、履修登録の前によく確認してください。なお、内容・方法についての確認や問い合わせは担当者までメールで直接ご連絡下さい。

網谷龍介（津田塾大学）

amiya@tsuda.ac.jp

<http://homepage1.nifty.com/amiya/>

・授業の目標・概要

機構としてのEUについての基礎的な知識を習得するとともに、統合を通じた各国政治の変容を含めた「ヨーロッパ政治」を分析するための視角を身につける。

・授業の運営方法

授業は講義形式で行う。ただし予習課題の事前提出を必須とし、授業時間内には補足・発展的説明や質問事項への回答を行う。限られた時間の中で、解説書を読めばわかることを教員が説明するのは、お互いにとって時間の無駄だからである。課題の内容は、各回の指定文献を読み、内容の簡単なまとめと疑問・コメントをA4で1ページ程度の範囲で記載し、提出することである。担当者はそれに目を通した上で授業を行い、授業時間内に触れられなかった重要な質問・コメントについては別途リプライを配布する。

・成績評価方法

平常点（予習課題）50%+学期末試験（学部）、レポート（大学院）50%

* 冬期休暇中に自由課題を実施し、提出したものについては加点を行う予定である。

・教材

以下二冊は教科書として使用する。その他の教材は、いずれもウェブ上で入手できるので、担当者のウェブサイトに授業進行予定を掲載し、そこにリンクを張っておく。

バンジャマン・アンジェル／ジャック・ラフィット『ヨーロッパ統合——歴史的大実験の展望』創元社，2005年（1500円）。

藤井良広『EUの知識 第15版』日本経済新聞社（日経文庫），2010年（966円）。

・授業計画

10.03/10：休講（本務校校務）／休日

10.17：イントロダクション

10.24：欧州統合の歴史 1（前史～1957）

アンジェル／ラフィット，第1・2章

10.31：欧州統合の歴史 2（1957～1994）

アンジェル／ラフィット，第3・4章

11.07：欧州統合の歴史 3（1994～）

アンジェル／ラフィット，第5章

11.14：統治機構 1（欧州委員会，理事会）

藤井，pp.14-56（I新段階に向かうEU+II EUの機関のうち「1 主要機関」）

11.21：統治機構 2（欧州議会）

浅見政江「欧州連合は民主的か？」『慶應法学』10，299-325.

11.28：統治機構 3（欧州司法裁判所）

伊藤洋一「ヨーロッパ法における多元的法秩序間の調整問題について」『新世代法政策学研究』4，2009，93-117.

12.05：政策過程 1（政策過程の概観）

藤井，pp.160-225（V 分野ごとの政策展開）

12.12：政策過程 2（経済通貨同盟）

藤井，pp.74-117（III新段階のユーロとEU経済）

12.19：政策過程 3（コミットロジーと農業政策）

八谷まち子「コミットロジー考察」『政治研究』46，1999，159-208.

01.16：政策過程 4（マルチレベルガバナンスと地域政策）

稲本守「欧州連合（EU）の『地域政策』と『マルチレベル・ガバナンス』」『東京水産大学論集』38，2003，23-42.

01.23：政策過程 5（ヨーロッパ化と反差別政策）

網谷龍介「社会規範の『ヨーロッパ化』の政治過程」『社会科学研究』57(2)，2006，67-91

01.30：政策過程 6（OMCと社会・雇用政策）

田中敏「社会政策——『欧州社会モデル』の変革——」『総合調査：拡大EU——機構・政策・課題——』国立国会図書館調査資料，2007，190-206.